

ひろば

みんながつくる楽しいページです。
お気軽に投稿してください。

絵画・書・絵手紙・写真・手芸、その他なんでも、手作りのものをご紹介ください。



ギャラリー

木彫り



老後の楽しみにコツコツやっています。
最近、いい材料がなかなか手に入りにくいです。
(西区・井口 元西汎登さん)



ガーデニング

「わたしの自慢のお庭」「こんな花知ってますか」「うちの庭でこんな野菜ができました」。育て方の秘訣…教えてください。

「奥様の野菜畑…NO. 1」

何気なく家の前の道路から畑を見下ろすと、「レジャー農園」の看板。五段あるだんだん畑の真中は、森のように雑草がうっそうと茂っている。なぜ…?他の畑はとても上手に野菜ができていのに。お百姓さんになりたい奥様と、畑の出会いは2年前の4月。

「無理だと思いますよ。何人かがかりられたけど長続きしていませんよ」「手入れをしてもらえるのなら借地料は半額でいいですよ」嬉しくなって百姓になりたい奥様は借地料半額の畑を借りた。なるほど、長続きしない訳が分かった。

竹藪の側の畑は竹が根を張り、耕せる土地はわずかなのだ。奥様は百姓になりたい夢があるから、必死に畑を開拓している。スコップの柄が折れる、鍬の柄もおれた、ノコギリも刃がボロボロになる。肩も手も足も腰も疲れてしまって、弱音が出そうになる。

すぐには畑にならないのなら、ヒマワリの種を蒔いておいておくことにす



紫外線対策と蚊取り線香は必需品です



る。真夏にヒマワリの花が咲くのを楽しみにして育てよう。弱気になった時、少しずつ通りかかりの人が声をかけて下さる。

「がんばってるねえ」「畑らしゅうなったじゃー」「竹の根は燃やしてあげるけえー、そこら置いときんさい」「畚を1枚あげるけえー、土の中に埋めんさい。良い土になるよ」なんだか、仲間に入れたようなあったかい喜びが湧いてきた。

最初の収穫物はタケノコ、開拓途中に美味しいタケノコがたくさん収穫できるのだから疲れも吹っ飛んでしまい、欲が出始めて畑の面積を広げたくなる。(続く) 己斐・チェリー



第16回西区民まつり

11月5日、サンプラザと隣接の公園で開催

今年も「心のふれあう ふるさと西区」をテーマに第16回西区民まつりが11月5日(日)、広島サンプラザ(西区商工センター3-1-1)と隣接の公園を会場に開催されます。午前9時20分のオープニングセレモニーを皮切りにステージでの芸能発表や出店のほか、コーラ・ラムネ早飲み競争やミニSLなどを予定しており、家族みんなで楽しめる催しがいっぱいです。雨天の場合でも行います。
主催 西区民まつり委員会
共催 西区役所
区内の児童館が開催する西区こどもまつりも併催します。



芸能ステージでの出演者を募集



豪快な和太鼓の演奏



子どもたちによるジャズダンス

まつりの当日、午前10時から午後3時まで、サンプラザのホールで行う「ふれあいステージ」の出演者を募集します。

応募の方法

- ①申込み 所定の用紙で西区民まつり事務局(西区福島町二丁目2-1 西区役所まちづくり推進課内)へ。申込み多数の場合、抽選。音響装置の都合でお断りすることもあります。
- ②締切り 8月21日まで、同事務局へ
- ③問合せ 同事務局 (TEL232-2111内線232 FAX232-9783)

右の写真は、昨年のステージ出演者の様子です。

編集・発行 西区コミュニティ交流協議会 広島市西区福島町二丁目2-1
TEL 082-232-2111
E-mail info@west21.gr.jp
HPアドレス http://www.west21.gr.jp/

児童館で交通安全の集いを開催

広島県夏の交通安全運動

夏の交通安全運動が7月11日から20日まで県内一斉に展開されました。西区内では、これまでのJR駅前での街頭キャンペーンに代わり、新しい試みとして、交通安全紙芝居など“交通安全の集い”を井口明神・草津・天満の各児童館で開催し、約250人の子どもたちと保護者が参加しました。



熱心に紙芝居を見る子どもたち。
(写真左：草津児童館、写真右：天満児童館)



子どもたちが作った 交通安全標語

天満児童館の子供たちは、家族への願いを込めて標語を書きました。指導された天満児童館の実平指導員は「字余りもあるけど、五・七・五になるように一生懸命知恵をしぼりました。子どもたちの素直な気持ちが伝わってきます」と感想を述べられました。右の写真は子どもたちの標語と母親クラブの作ったマスコットです。



- 『おとうさん しんごうをみて わたろうね』山口たかふみ君 (1年生)
- 『チカチカで 青のしんごう きをつけれ』尾崎紅介君 (6年生)
- 『こうさてん よくみてわたれよ 左右』宍戸勇斗君 (5年生)
- 『あぶないよ しんごうがあおになったら わたろうね』よしだ けいじ君 (1年生)
- 『信号機 赤青黄色 見てわたる』佐藤永里さん (3年生)
- 『あぶないよ よくみてわたろう こうさてん』浜村彩香さん (2年生)
- 『おかあさん くるまののって じこしないで』すぎはら しおりさん (1年生)
- 『くろいふく よるにきると あぶないよ』西山翔君 (5年生)
- 『おとうさん しんごうを まもってね』伊原健太郎君 (2年生)
- 『あめのひの じてんしゃとても あぶないよ』中島正義君 (6年生)
- 『きをつけて しんごうがあおになってから わたろう』ふくはら めぐみさん (1年生)
- 『きをつけよ しんごうはあおになったらわたろう あかになったらとまる』

おのどう まさし君 (1年生)

そのほかにも子どもたちが標語をつくりましたが、割愛させていただきます。

青少年により環境をあたえる運動

7月2日、井口公民館からフジ井口店まで街頭パレード



今回はカブスカウト隊の協力をいただき、カープ1塁応援団長の飛び入り参加もありました。

西区役所・西区青少年健全育成連絡協議会(青少協)・西地区保護司会・西地区更生保護婦人会が共催する「青少年により環境をあたえる運動」街頭パレードは、今回、井口台と井口地区の青少協が担当し、7月2日(日)、井口公民館(井口鈴が台二丁目)からフジ井口店(井口台二丁目)まで実施しました。大変暑い中でしたが、各地域からPTA・子ども会など、約500人の参加されました。

閉会にあたり、打越・西区青少協会長が「家庭・学校の問題とせず、今こそ、地域で青少年を見守り、力を合わせて健全育成を図っていこう」と、力強く呼びかけました。

第50回社会を明るくする運動街頭啓発



法務省が主唱するこの運動に西地区保護司会・更生保護婦人会が中心となって、7月1日、JR横川・西広島・新井口駅前でティッシュなどを配布し街頭啓発をしました。

青少年健全育成「ティーンズ・フェスティバル」

井口台地区青少年3バンドが出演

青少年により環境をあたえる運動
信じるよ きみの勇気と やさしさを



中学校からの友達でつくった高校生4人のバンド「ガラクタ」、中学生2人のバンド「MATEKI」、高校1年生3人とドラムの大人のバンド「レノン」が演奏。

「青少年により環境をあたえる運動」街頭パレード終了後、フジ井口店で青少年健全育成“ティーンズ・フェスティバル”を開催しました。

主宰した世話人会からのメッセージ

ここ数年、ギターやベースをかついでいる若者がすごく増えたと思うのですが、やはり、青少年が夢中になるものの中に、スポーツとならんで多いのが、音楽ではないでしょうか。

カラオケなどを含めて、音楽は年齢に関係なく愛好されています。

音楽をつうじて、子どもと大人のつながりが深まり、お互いに楽しみ、高めあえたらという思いで、このLIVEを企画しました。